



#### 平成20年度水道基礎講座

(第1回：5月14日～5月16日、第2回：5月21日～23日)

水道事業体、賛助会員の新規採用者及びこれに準ずる方々250名（第1回115名、第2回135名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。



#### 第60回中小規模水道問題協議会（5月20日）

はじめに、総務省自治財政局公営企業経営企画室の森弘樹課長補佐より、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行にあたって」と題して講演が行われた。

その後、情報交換事項として①料金未納対策について、②逦増型水道料金制度に係る利用者への説明論拠について、③配水池及び浄水池の内面、外面防水塗装工事の取扱いについて、④水道管布設工事における再生砂の使用について、⑤水道料金体系について（基本水量の付加）、⑥工事等による管破損事故への対応について、それぞれ情報交換を行った。



#### 第4回水道施設の事故事例検討専門委員会（5月21日～22日）

「水道施設の事故事例集（仮称）」に掲載予定のすべての事例について最終確認作業を実施した。続いて、事例集の正式名称について審議した結果、「実務に活かす上水道の事故事例集—事故防止と技術の継承に向けて—」に決定した。

なお、本専門委員会は今回で最終委員会となり、次回の工務常設調査委員会に最終報告を行い、承認を得た上で発刊となる旨の説明をした。

#### 第44回 ISO 審査登録センター・判定委員会（5月23日）

五月女設備工業株式会社の第4回サーベイランス及び臨時サーベイランスについて審議し、品質マネジメントシステムがJIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。

#### 第865会誌編集委員会（5月23日）

本誌8月号の編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

#### 第127回事務常設調査専門委員会（5月26日）

任期満了に伴う委員の改選後、初めての委員会開催であったことから、始めに議題1「正・副委員長の互選」を上程し、委員長には東京都水道局総務部長の鈴木委員が、副委員長には横浜市水道局副局長兼総務部長の川副委員並びに京都市上下水道局総務部長の吉川委員が選出された。次に報告事項1「水道料金制度特別調査委員会」、報告事項2「水道事業における調達方式のあり方に関する検討会」、報告事項3「新版水道関係判例集の発刊」、報告事項4「水道のあらまし2008の発刊」、報告事項5「安全でおいしい水道水推進運動の活動状況」、報告事項6「震災対応等特別調査委員会の設置」、報告事項7「水道施設・管路耐震性改善運動」について、それぞれ事務局より報告し、了承された。

続いて、議題2「地下水利用専用水道に対する水道料金体系」、議題3「広報マニュアル」について上程し、それぞれ審議の結果、議題2については、今後の検討を経営調査専門委員会へ付託することとし、議題3については、本委員会で示された目次案に基づき、引き続き広報専門委員会において検討を進めることが決定した。

#### 第27回水道 GLP 認定委員会（5月27日）

（社）青森県薬剤師会（認定番号：JWWA-GLP008）及び枚方市水道局（認定番号：JWWA-GLP009）について認定維持の審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定検査機関としての認定維持が承認された。

#### ISO 審査登録センターは JAB より認定範囲の拡大を承認（5月28日）

本センターは、平成20年5月28日付けで（財）日本適合性認定協会（JAB）より認定範囲拡大が承認されました。拡大範囲は、ゴム製品、プラスチック製品及び給水です。

## 第59回全国水道研究発表会（5月28日～30日）

仙台市の仙台国際センター、仙台市博物館において全国から約1,500名の参加を得て盛大に開催された。開会式では開催地を代表して、梅原仙台市長、日本水道協会を代表して御園専務理事、来賓として山村厚生労働省水道課長、坂本日本水道工業団体連合会専務理事より挨拶があった。



梅原仙台市長



御園日本水道協会  
専務理事



山村厚生労働省  
水道課長



坂本日本水道工業  
団体連合会専務理事

続いて、「気候変動と水道」をテーマとして、須藤隆一埼玉県環境科学国際センター総長の座長のもと、山村尊房厚生労働省水道課長、粕谷明博国土交通省水資源部水資源計画課長、杉浦則夫筑波大学大学院教授、長岡敏和東京都水道局浄水部長、藤井秀男仙台市水道局給水部参事を講師に、水道フォーラムが開催された。

また、会期中、本会のPRコーナー、日本水道工業団体連合会による水道用品展示会が開催され、多数の見学者で賑わった。

研究発表は10部門に分かれて行われ、発表数は事務23、計画29、水源・取水8、浄水64、導・送・配水75、給水装置14、機械・電気・計装19、水質65、リスク管理・災害対策19、英語9、計325編の発表が行われた。



開会式



水道フォーラム



研究発表の様子



仙台国際センター

### 平成20年度第2回水道週間中央行事実行委員（6月1日）

6月1日（日）に開催された第30回水道週間中央行事「記念式典」の運営について、開催地である新潟市より説明が行われた。

### 第50回水道週間（6月1日～7日）

今年で50回目を迎えた水道週間が6月1日から7日まで全国各地で実施され、「水の大切さ」を広く周知するため多彩な催しが行われた。

今年の水道週間中央行事は、6月1日（日）、新潟市の「りゅーとぴあ」をメイン会場に厚生労働省、新潟市、水道週間中央行事実行委員会の主催により、第30回水道週間中央行事「水道フェスタ in 柳都 Niigata」として開催され、約4000人（メイン会場入場者）の市民で賑わった。

りゅーとぴあ（コンサートホール）ではパイプオルガンの演奏と「アルビレックスチアリーダーズ」のパフォーマンスが演じられた後に、篠田新潟市長、上村厚生労働審議官、御園水道週間中央行事実行委員会委員長が出席し、記念式典が行われた。



開催地挨拶：篠原新潟市長



主催者挨拶：上村厚生労働審議官

式典の後の記念講演では、女優でエッセイストの松居一代さんが「花の笑顔に乾杯！ -水と健康-」と題し講演を行い、大いに盛り上がった。また会場周辺の空中庭園では、PR イベ

ントとして、観光物産展の他にウォーターバーが設置され、新潟のおいしい水道水をアピールした。



記念講演：松居一代さん



パイプオルガン演奏の様子

その他にも信濃川浄水場では見学ツアー「探検 信濃川浄水場」や、市街地のNEXT 21ではクイズラリー、マスコットキャラクターショーなどの多彩なイベントが行われ、市民が楽しみながら「水の大切さ」や「水への親しみ」を深める行事となった。

#### 第130回水道事業管理者協議会（6月2日）

はじめに、総務省自治財政局公営企業経営企画室の森課長補佐より「地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行にあたって」の講演が行われた。

その後、情報交換事項として、①下水道事業の統合について②水道施設の耐震化の実施計画について③地下水利用専用水道への転換状況等についての意見交換が行われた。



#### 第171回常任理事会（6月3日）

御園専務理事が議長となり、はじめに報告事項1「第50回水道週間及び第30回水道週間中央行事の実施について」、報告事項2「水道事業における調達方式のあり方に関する検討会について」、報告事項3「水道料金制度特別調査委員会について」、報告事項4「『新版 水道関係判例集』の発刊について」、報告事項5「水道施設管理技士登録の更新について」、報告事項6「水道事業国際貢献推進室の設置について」及び報告事項7「ISO 審査登録センターの業務終了について」がそれぞれ事務局より報告された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「『水道の安全保障に関する検討会』の設置について」、第2号議案「『ISO/TC224国内対策委員会』の設置について」、第3号議案「平成21年度水道関係予算の要望について」、第4号議案「第60回全国水道研究発表会の開催地及び開

催期日について」の4件について事務局から諮り、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第4号議案により、平成21年度の全国水道研究発表会は平成21年5月にさいたま市において開催されることが決定した。

会議終了後には、第3号議案の議決に基づき、常任理事全員により厚生労働省、総務省に対して強力な陳情を行った。



#### 平成20年度浄水場等設備技術実務研修会（第1回：6月3日～6月6日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々14名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

#### 第6回水道用塗料等に関する衛生性調査専門委員会（6月4日）

工務常設委員会から依頼のあった、日本水道協会規格「水道送・配水管更生用無溶剤型二液エポキシ樹脂塗料（JWWA K 138）」の衛生部門について、改正案をまとめた。この改正案は、7月18日の平成20年度第1回衛生常設調査委員会（第221回）に報告する。

#### 震災対応等特別調査委員会／第1回緊急時の対応に関する小委員会（6月4日）

本委員会は「震災対応等特別調査委員会」の小委員会として、災害時における相互応援の基本的事項である応援連絡体制の確立や費用負担の考え方等の検討を行うために設置された。

はじめに先の第1回震災対応等特別調査委員会の赤川委員長により指名された小委員会委員長、稲毛名古屋市上下水道局経営本部企画部主幹の議事進行により副委員長長の選出を行い、石井東京都水道局参事が就任した。続いて「地震等緊急時対応に関する報告書」の主な改訂内容、検討の方向性、今後のスケジュールについて審議を行った。



#### 平成20年度水道事業事務研修会（経営部門、Aコース）（6月10日～13日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年以上）の方々52名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道

事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

#### 震災対応等特別調査委員会／第1回 耐震化推進方策検討小委員会（6月11日）

本小委員会の設置の背景、耐震化の進捗状況等について説明を行なった。続いて耐震化推進方策の検討事項、耐震化推進方策の検討方法、アンケートの実施について事務局より説明を行い、了承された。

#### 震災対応等特別調査委員会/第1回応急給水・応急復旧に関する小委員会（6月13日）

第1回震災対応等特別調査委員会の審議結果、主な意見等について報告を行い、地震等緊急時対応に関する報告書（白本）の改訂に関する主な検討事項や、執筆に関するワーキンググループの設置、今後のスケジュール及び方向性について確認した。

#### 第1回残留塩素管理に関する調査専門委員会（6月13日）

当委員会は、各水道事業者で、おいしい水の観点等から残留塩素の低減化が進められている中、残留塩素測定方法の調査や残留塩素の低減化に伴う、給配水過程での衛生性の保持等について調査するもので、委員長に寺嶋大阪市水道局工務部水質試験所長、副委員長に伊佐治名古屋市上下水道局技術本部施設部主幹を選出し検討に入った。



#### 第621回抄録委員会（6月13日）

本誌平成20年9月、10月号に掲載する外国文献の抄録内容及び8月号に掲載する海外文献目録について審議した。

---

#### ※お詫び

本誌6月号掲載の巻頭言「水道週間余話」におきまして、水道週間の実施時期に関する記述に誤りがございました。ここに深くお詫びし訂正申し上げます。

左側下から10行目（誤）「6月下旬」→（正）「6月上旬」